

デロイト トーマツ LHit データビジョナリー株式会社

貸借対照表

2024年5月31日 現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>99,694</b>	<b>流動負債</b>	<b>57,295</b>
現金及び預金	78,716	買掛金	15,403
売掛金	20,063	短期借入金	20,000
貯蔵品	29	未払金	6,284
立替金	343	未払費用	6,708
繰延税金資産	540	未払法人税等	965
預け金	0	未払消費税等	5,272
		預り金	1,162
		賞与引当金	1,500
		<b>負債合計</b>	<b>57,295</b>
<b>固定資産</b>	<b>598</b>	<b>純資産の部</b>	
<b>有形固定資産</b>	<b>0</b>	<b>株主資本</b>	<b>42,996</b>
車両運搬具	2,649	<b>資本金</b>	<b>1,020</b>
工具器具備品	302	<b>利益剰余金</b>	<b>41,976</b>
減価償却累計額	△2,952	その他利益剰余金	41,976
		繰越利益剰余金	41,976
<b>無形固定資産</b>	<b>598</b>		
ソフトウェア	598		
		<b>純資産合計</b>	<b>42,996</b>
<b>資産合計</b>	<b>100,292</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>100,292</b>

(注1):千円未満は切捨てにより作成しています。

(注2):当期純利益 8,210 千円

# 個別注記表

自 2023年6月1日  
至 2024年5月31日

## I 重要な会計方針

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品

・・・ 個別法による原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

##### ①建物・建物附属設備・構築物

・・・ 定額法を採用しています。耐用年数については、原則として法人税法所定の耐用年数を採用しております。

##### ②建物・建物附属設備・構築物 以外の有形固定資産

・・・ 定率法を採用しています。耐用年数については、原則として法人税法所定の耐用年数を採用しております。

#### (2) 無形固定資産

・・・ 自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間5年に基づく定額法を採用しております。

### 3. 引当金の計上基準

#### (1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。なお、過去の貸倒実績がないため、当期において貸倒引当金は計上しておりません。

#### (2) 賞与引当金

役員および職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度負担額を計上しております。

### 4. 収益及び費用の計上基準

請負契約においては、短期間の請負契約を除き、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識する方法によっております。

なお進捗率の見積りの方法は、見積り総原価に対する発生原価の割合で算定しております。

### 5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理・・・ 税抜方式

## II 株主資本等変動計算書に関する注記

### 1 発行済株式の数及び自己株式の数

株式の種類	普通株式
-------	------

発行済株式数	333株
--------	------

自己株式	当期末において保有する自己株式はありません。
------	------------------------

## III 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。